

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 7月22日

【評価実施概要】

事業所番号	0170503585		
法人名	有限会社 敬 友		
事業所名	グループホーム いずみの杜		
所在地	札幌市白石区北郷2条11丁目7-3 (電 話) 011-873-8880		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成19年 7月 18日	評価確定日	平成19年8月6日

【情報提供票より】（ 19年 6月 1日事業所記入）

（1）組織概要

開設年月日	平成 17年 11月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17人	常勤16人, 非常勤1人, 常勤換算10.6人	

（2）建物概要

建物構造	鉄筋 コンクリート 造り		
	3 階建ての 2 ～ 3 階部分		

（3）利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	27,000 円
敷 金	有 (円)	○無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) ○無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 円
	または1日当たり 800 円		

（4）利用者の概要（ 7月 18 日現在 ）

利用者人数	18 名	男性 9 名	女性 9 名
要介護 1	6	要介護 2	7
要介護 3	3	要介護 4	2
要介護 5	0	要支援 2	0
年齢	平均 79, 7 歳	最低 61 歳	最高 91 歳

（5）協力医療機関

協力医療機関名	大屋医院, サンプラザ新札幌循環病院, さくら医科歯科クリニック, 白石脳神経外科病院
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは、地域との交流のため積極的 な行動がされています。例えば、近くの小学校の生徒（6年生）を2日間に分けてホームでの体験研修を行なっています。調理を手伝う、一緒に食事をする、また、居室やリビングの清掃など、利用者やスタッフに混じりながら体験し、学校や家族からも好評を得て継続する予定となっております。町内会からの理解も深まっており、地域のお祭り、小学校の運動会、文化祭などに招かれるなど交流の輪は広まりつつあり、将来を期待されるホームとなっています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況（関連項目：外部4） 前回の評価で指摘された①本人の経験を生かすケア②栄養素の把握③研修④洗剤の保管⑤苦情受付の窓口など、何れも改善がされていました。また、玄關表示や緊急時の手当てなどへの対応は現在検討中であり、近く改善が見込まれています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4） ホーム長は、スタッフとの取り組みを強化するため「取り組み計画シート」の採用により、行動計画を立てながら進めようとしています。また、次回からは自己評価の各項目についてスタッフに記載をしてもらう、いわゆるボトムアップの採用も考慮しており期待がされます。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4, 5, 6） 会議には、ホームの現況報告や当面の課題などを議題としています。また災害時の避難対応なども地域への協力要請を行なうほか、小学校の生徒や町内の住民とのふれあいなども話し合われています。これからは、自己評価にみる改善への取り組み、また外部評価への対応を報告しながら、運営推進会議のメンバーがモニター役を担ってもらうよう取り組みの拡大を期待します。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7, 8） 毎月発行し家族のもとへ送られている「いずみの杜通信」の内容は、利用者一人ひとりの元気な笑顔を家族に伝える内容となっており、家族から好評を得ています。また、家族が訪問の際はホーム長始めスタッフがこぞって家族の意見や要望を聞くよう努力が重ねられています。また、些細なことも見逃さず受け入れながらホームの運営に反映するよう気配りがされており、今後も現状を持続しながら、より充実を図られるよう期待します。
重点項目④	日常生活における地域との連携（関連項目：外部3） 地域で行なわれるお祭りや小学校の運動会、学芸会などに招かれた際には、利用者の体調を見ながらできるだけ多く参加し、地域との交流を行なうようにしています。また、小学校の体験研修の場として受け入れ、利用者とともに一日を過ごすなど学校側からも大変喜ばれております。今後は裾野の広い地域交流を目指し取り組まれるよう期待します。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念として「敬うところ・尊厳ある暮らし」が謳われ、日々実践されていますが、地域のなかでその人らしく生活することを支えるケア、いわゆる地域密着型サービスの表現は理念のなかに見えません。	○	平成18年度の制度改正により、「家庭的な環境と地域住民との交流のもとで」に改められ、地域との関係性が重視されることとなりました。ホーム運営では地域との十分な連携が見られますが、理念のなかにも地域との関わりを加える検討を期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム理念は、従来から全体会議や内部研修のなかで、都度説明がされてきていますが、スタッフの異動が多々生じており、かつ地域密着型のサービスへの全体的な共有と取り組みには至っていません。	○	これまでの運営理念に加え、地域密着型のサービスについてもホーム長を中心としたスタッフの全てが共有し、日々のサービスに反映されるよう望みます。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域で行なわれるお祭りや文化祭、運動会などに招かれ利用者は参加して交流を深めております。また、近くの小学校の生徒がホームに来ての体験研修も受け入れるなど活発な地域とのおつきあいがされています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の結果も、ホーム長を始めスタッフ間で検討され、改善に向けての姿勢が見られますが、実際の改善検証には若干の物足りなさを感じます。	○	評価の意義と取り組みの目標設定を行ないながら、新しいスタッフを含めた検討が必要と思慮いたします。「取り組み計画シート」の利用も考慮され、各項目別の目標と検証を期待します。

札幌市 グループホーム いずみの杜

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の内容は、ホームの運営、現況報告、認知症への理解を求める資料の提供などにとどまらず、緊急時の対応、行事への参加、地域とのふれあい機会の創設などが協議されています。	○	これからの会議では、今回の自己評価及び外部評価の内容を開示しながら、ホームとしての取り組みについて理解を求めるなど、モニター役をお願いし、ともに歩む体制が望まれます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険の制度上の問題に関わる電話での問い合わせなどは行なわれていますが、そのほかの関わり、連携は見られません。	○	区の担当窓口へは、ホームの実情やケアサービスの取り組みなどを知らせる、また、スタッフのスキルアップを目的とした研修会の情報なども問い合わせるなど、区の担当者とともに課題の解決に対応されるよう望まれます。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族には、毎月刊行されるホーム便り「いずみの杜通信」で暮らしの様子を盛りだくさんの写真とともに伝えています。また、家族への通信欄を設けて、利用者の暮らしぶりや健康状態などをスタッフによる手書き報告もしています。お預かりをした金銭の管理についても、毎月使途明細書により領収書を添え詳細に報告しており家族の安心感につながっています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営に関する家族の意見要望を伺うため、「意見箱」の設置や家族会の会合、また、家族が訪問の際を利用して些細なことも伺うようにしています。また、苦情などのホーム窓口や外部機関の窓口紹介も周知しています。今後も意見や要望をホーム運営に反映させようとしています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	最近まで、スタッフの異動が多く、利用者や家族に心配をおかけしましたが、やっと落ち着きを見せています。馴染みとなったスタッフの退職には、ユニットリーダーが代わって支援をするなど、また、新人のスタッフには早く馴染みになるよう、家族の協力も仰ぐなど影響への配慮をしています。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社及びホーム長は、スタッフのスキルアップのため様々な研修の機会を与え、かつローテーションなどの便宜を図るよう配慮しています。自主的な資格取得に対しても参加しやすいような環境づくりをして応援しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	区内のグループホーム協議会に加わり、管理者の研修や情報交換を行なっています。これまでスタッフの定着化などの課題を抱えており、スタッフの同業者間の交流機会は作られておりません。	○	最近、スタッフの補充など環境の整備が整ってきたことで、スタッフのスキルアップのためにも同業者間の交流もを図ろうとしています。ネットワークの構築、更には相互訪問などの取り組みを期待します。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	相談を受けた時点から、本人や家族に生活情報を幅広く聴き、ホーム見学時には一日の生活の流れや雰囲気、設備の使用法などを十分に説明をし、本人や家族が安心納得されるよう努めています。また、これらの初期情報から入居に移行するまでの簡単な介護計画を作成し、提示しながら入居後の生活がスムーズに送れるように配慮されています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	毎日のおやつの中には、広いキッチンで利用者から芋だんごの作り方を教わるなど、利用者とスタッフが一緒になってお互いを支えあう関係が築かれていました。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	スタッフは、利用者それぞれの願いや支援を望むこと、また、そのときの気分など暮らしの場面ごとに日常会話や表情から汲み取り、それらの情報を「専用シート」に具体的記載してスタッフ間で検討しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、「専用シート」に記載された利用者それぞれの思いや意向、暮らしの情報や日常のチェック項目（水分摂取、排泄、バイタル、入浴、食事など）、加えて家族の要望や不安などの情報を加えながらカンファレンスで検討し作成をしています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居直後は、利用者の不安が大きいため、3ヶ月をめどに評価見直しを行ない、新しい環境での生活がスムーズに送れるよう配慮されます。その後は、6ヶ月をめどに評価見直しを行ない、利用者の状態が変化した際には、その時点での評価見直しを行なっています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じた、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームでは、利用者や家族の要望に応じて、医療機関への通院、馴染みの理美容院への送迎などホーム車を利用した支援を行なっています。また、外出機会を支援するためのドライブ旅行も取り入れて、変化のあるホーム生活への配慮もされています。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	掛かり付け医のホーム訪問は毎月1回行なわれ、外部評価で訪問の際に受診が行われていました。各利用者に声掛けを行ないながら、和やかな診療と利用者の安心を見ることができました。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在のところ、会社の方針でターミナルケアを前提とした利用者との契約はしておりません。ただ、緊急の事態などを想定して家族との話し合いの場は設けております。	○	利用者の重度化や終末期を迎える事態に対応した、より良い暮らしが求められており、ホームとして「できること、できないこと」を見極めながら、家族は勿論、医師やスタッフが連携をとりながら暮らしを支えることが求められ、十分な内部検討が望まれます。
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシー確保は、ホーム理念の「尊厳ある暮らし」で強く謳われており、ホーム長は全体会議などで実践への話を度々していますが、トイレへの誘導に際しての優しい声掛けなどに配慮が欠ける場面にも遭遇しました。	○	まだ、新しいスタッフであり、利用者との尊厳あるケアサービスの支援ができていない面がありますが、優しく耳元での声掛けなどサービスの質の向上により、プライバシーの確保徹底を望みます。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームでの基本的な生活の流れはあるものの、その流れのなかで利用者はゆったりとした生活、自分本位の暮らしが営まれています。		

札幌市 グループホーム いずみの杜

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は一般家庭と同じに、冷蔵庫の食材を利用したもので作られており、スタッフのオリジナリティーが活かされており、スタッフも一緒に楽しく食べています。利用者から「いもだんご」の作り方を教わるなど、また、下膳は殆んどの利用者が自発的に行なっていました。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、少なくとも週2回は利用して頂くよう支援しており、午前、午後、また、毎日を希望される場合も対応していますが、どうしても嫌われる場合は、スタッフとともに街の銭湯に行く場合があります。だた、スタッフのローテーションにより夜間入浴は現在しておりません。	○	入浴に対して細やかな配慮がされており、持続し発展されるよう期待します。また、夜間入浴についてはスタッフの複数配置やローテーションなど難しい点もありますが、問題解決のため前向きな検討を望みます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホーム内では、毎朝の掃除に、また、茶碗拭き、雑巾縫い、洗濯物たたみ、金魚の餌やりなど、それぞれが自分でできることが行なわれています。外では、買物の際に歩行器を兼ねたカート押しが得意な利用者もおります。百円均一の買物にも度々出掛けを楽しむにしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候が良ければ、散歩を含め外の空気を浴びるよう支援しており、利用者の楽しみでもあります。イチゴ狩り、梅林公園、河川敷でのピクニックなどドライブを含め盛んに取り入れています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームでは、夜間のみ施錠をしていますが、昼間は2階、3階などユニット間も開放されています。利用者のなかで外出の様子が見えた場合はスタッフが一緒に散歩をして気分転換を図っています。		

札幌市 グループホーム いずみの杜

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎年、2回の災害避難訓練を行ない、避難経路の確認、消火器による初期消火、通報システムの確認など徹底化が図られています。運営推進会議のなかでも災害時の協力対応をお願いしており、万全を期すよう気配りされています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の量、水分の摂取など毎日細やかに記録されており、また、スタッフが作るバランスの取れた食事の献立は、本社で管理されておりカロリー計算もされ、家族にも報告されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング及び廊下、また、エレベーターホールなど随所に椅子が置かれて、利用者が思い思いに過ごせる場所が確保されています。リビングの一部にはカーペットを敷き、ごろ寝ができるスペースがあるなど居心地の良い空間づくりの工夫が見られます。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、ベット、整理ダンス、テレビなど思い思いの家具調度品が持ち込まれ安心して過ごせる空間となっております。中にはステレオコンポ、DVDプレーヤー、パソコンで楽しむ利用者もおります。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。